

環境技術実証モデル事業
化学物質に関する簡易モニタリング技術分野

化学物質に関する簡易モニタリング技術 実証試験要領（第2版）

平成17年5月16日

環境省総合環境政策局
環境保健部環境安全課

目次

[本編]

I. 緒言	1
1. 対象技術	1
2. 実証試験の種類及び概要	1
(1) 実証試験の種類	1
(2) 実証試験の概要	2
(3) 用語の定義	2
II. 実証試験実施体制	4
1. 環境省	4
2. 環境技術実証モデル事業検討会	4
3. 環境技術実証モデル事業 化学物質簡易モニタリング技術ワーキンググループ	4
4. 実証機関	4
5. 技術実証委員会	5
6. 環境技術開発者	5
III. 実証の対象技術の選定	6
1. 申請	6
2. 対象技術選定	6
(1) 形式的要件	6
(2) 実証可能性	6
(3) 環境保全効果等	6
IV. 実証試験の準備	7
1. 実証試験の視点	7
2. 実証試験計画の策定	7
3. 実証試験の費用分担	7
4. 免責事項	7
V. 実証試験の方法	9
1. 対象とする化学物質	9
2. 実証項目の内容	10
3. 実証試験の内容	12
(1) 基本的な性能	12
(2) 実用的な性能	23
(3) まとめ	26
VI. 実証試験結果報告書の作成	30
VII. 実証試験実施上の留意点	31
付録0：品質管理システム	32
1. 組織体制、責任	32
2. 品質システム	32
3. 文書及び記録の管理	32

4. 試験の外部請負契約	32
5. 監査	32
付録1：実証申請書	33
付録2：実証試験計画	36
付録3：実証試験結果の要約イメージ	37

[資料編]

資料1：環境技術実証モデル事業の概要	40
1. 目的	40
2. 「実証」の意味について	40
3. 事業実施体制	40
4. 事業の手順	40
資料2：環境技術実証モデル事業の実施体制	41
資料3：環境技術実証モデル事業の流れ	42
資料4：化学物質簡易モニタリング技術ワーキンググループ設置要綱	43
資料5：化学物質簡易モニタリング技術ワーキンググループ検討員名簿	44